

教育目標

- 創造 体験学習を通して視野を広げ、教養を深めるとともに、豊かな創造性と表現力を育てる
- 自律 生徒一人ひとりの個性を伸ばし、自らの進路に向けた意欲を育て、自己実現を図る
- 信頼 自ら考え、自ら行動できる力を育てるとともに、他者と協調し、国際社会に貢献する国際人としての資質向上を図る

I 目指す学校像

**「本物に触れる、本物を知る、本物を目指す！」 ～ 夢への挑戦は今日の一步から～**

**スクール・ミッション**

「創造」「自律」「信頼」を教育目標に掲げ、普通科単位制の特徴を生かして、生徒の可能性と個性を伸張する教育及び人間性を育成する教育を行う。幅広い教養と確かな学力を身に付け、国際理解教育とコミュニケーション能力向上を推進し、思いやりの心や地域及び社会に貢献する心を育成する。

(1) グラデュエーション・ポリシー

多様な他者や変化する社会を理解し、自己の目標に対して主体的な努力を継続できる人間を育成する。

(2) カリキュラム・ポリシー

本校の教育目標を達成するために、以下の基本方針に基づき、生徒の生きる力を育む、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。

- 1 進学・特活型教育を目指し、多様な体験を通して学ぶ喜びを体得させ、学びに向かう力を育成する。
- 2 元気に挨拶でき、自らを正しく表現すると共に多様な他者と協調することができる人間力を育成する。
- 3 生徒が自ら進路目標を掲げ、目標に向かって努力し、自己実現できる進路挑戦力を育成する。

(3) アドミッション・ポリシー

体験的な国際理解教育や表現力の育成、多彩な選択科目、ゆるぎない生活指導を特色とする。したがって、次の各項目に該当する生徒の入学を希望する。

- 1 本校の特色ある教育活動を理解し、積極的に取り組もうとする意志が明確な生徒
- 2 大学進学など将来へのしっかりとした目的意識をもっており、入学後も学習活動に対して積極的に取り組むことができる生徒
- 3 中学校での授業に積極的に取り組み、学習成果や取り組み内容について自信をもって語れる生徒
- 4 中学校3年間の諸活動等で、意欲的に取り組んだ活動・体験について自信をもって語れる生徒

II 中期的目標と方策

- 1 普通科単位制『進学・特活型』教育を推進し、学力向上を図り、生徒の可能性を最大限に伸ばす。
- 2 生徒が自ら進路目標を高く掲げ、その目標に向かって努力し、自己実現できる進路指導を実践する。
- 3 留学生等との交流や発表活動等を充実させ国際理解教育の推進とコミュニケーション力、表現力の育成を図る。
- 4 生徒が元気に挨拶をし、基本的な生活習慣、社会的規範をしっかり守る活気あふれる学校を目指す。
- 5 生徒が、勉強に、部活に、学校行事に、自分の可能性を信じて、最大限に努力するように文武両道の教育を実践する。
- 6 生徒・保護者及び地域の視点に立って、開かれた学校づくり、地域から信頼を得る学校づくりを推進する。

カリキュラム・ポリシー	取組目標
進学・特活型教育を目指し、多様な体験を通して学ぶ喜びを体得させ、学びに向かう力を育成する。	アクティブ・ラーニングによる主体的・対話的で深い学びの実現 授業改善、講習や家庭学習の充実等による主体的学習習慣の確立 留学生とのコミュニケーションや発表活動の充実等による国際理解教育の推進と人間力の育成
元気に挨拶でき、自らを正しく表現すると共に多様な他者と協調することができる人間力を育成する。	挨拶の徹底、社会的規範教育の充実 部活動と学校行事の充実 基本的生活習慣の確立・校内美化の徹底 社会貢献意識の啓発、地域との連携・協力体制の確立
生徒が自ら進路目標を掲げ、目標に向かって努力し、自己実現できる進路挑戦力を育成する。	3年間を見通した系統的かつ組織的な進路指導の充実 自己理解、自己啓発を通して主体的に進路を切り拓き自己実現を図る意識の育成 諦めずにより高い目標へ挑戦する進路挑戦力の育成

### Ⅲ 今年度の取組目標と方策

#### 1 教育活動の目標と方策

##### (1) 教科活動 【主体的学習姿勢の醸成】

- ア 学力スタンダードや模試の結果により目標の設定と学力分析をし、相互の授業参観や指導教諭の活用により生徒の実態に合わせ学力を向上させるための授業内容等の検討、工夫を行う。(7)
- イ チャイム始業の励行、授業規律、ICT機器やSNSの活用、家庭学習の増加を図り、学習に向かう姿勢を身に付けさせ、受験を意識した授業を実践する。(4)
- ウ 英語・数学・国語において、少人数授業・習熟度別授業を実施し、より生徒の進路希望に合わせた授業の配置、選択科目の検討を行い、学習効果を高める。(9)
- エ スクール・ポリシー、評価の3観点及びこれまでのアクティブ・ラーニング推進への取組を踏まえ、主体的・対話的で深い学びを実現させる授業を実践し、教員の授業力と生徒の学力の向上を図る。(5)

##### (2) 生活指導 【TPOをわかまえる力と社会性の育成】

- ア コロナ禍での制限された生活が生徒に与える影響を踏まえた生徒理解と特別支援教育への理解を深め、生徒や保護者が相談しやすい体制づくりに努めるとともに、生徒情報を共有し学校全体で協力して生徒指導に当たる。(4)
- イ 全校あげての生徒指導の下、挨拶の励行、校内美化、時間厳守等を徹底させる。(4)
- ウ 一人一台端末とデジタル技術の活用及びSNS利用における留意点を踏まえ、思いやりの心を育み、人権意識や道徳心・公共の精神を高める指導を行い、豊かな人間性の育成を図る。(4)

##### (3) 進路指導 【進路挑戦力の醸成】

- ア 3年間を見通した進路指導計画に基づき継続的かつ段階的に各年次に応じた進路指導を推進するとともに新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた進路行事等を工夫する。(7)
- イ 進路指導と「総合的な探求の時間(ブリッジ)」の充実を図り、生徒の主体的な進路への活動を促すことにより、自己理解、自己実現の姿勢、高い意識での進路意識を育成する。(7)
- ウ 多様化する入試制度に関して情報を収集、活用し、生徒が自らの可能性を信じ、諦めず意欲的に高い目標へ挑戦する進路挑戦力を養う。(7)
- エ 模擬試験結果・入試問題等を調査・分析し、その検証に基づいて授業および進路指導の取組みを創意工夫して改善していく。(4)
- オ 図書館の活用及び情報教育を推進し、生徒一人ひとりの知的探求心及び情報探索能力の向上を図る。(7)

##### (4) 特別活動・部活動 【文武両道の実践】

- ア 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて学校行事の内容・時期を検討し、授業時間を確保するとともに特別活動の活性化を図る。行事やホームルーム等において、生徒の自治自立の精神を養成する。(7)
- イ Sport-Science Promotion Club、文化部推進校の指定を受けていることを踏まえ、部活動は、生徒の個性を伸ばし人間性を育てる場であると捉えこれを重視する。部活動における体罰や暴力的な言動は一切行わない。(7)
- ウ 夏期講習、放課後・土曜講習、体験行事等の学習・進路活動と部活動の両立(文武両道)を支援する。(7)

##### (5) 開かれた学校づくり 【上水高校認知度・好感度のUP】

- ア 本校の教育理念や特色を広く発信するなど、より一層の広報活動の充実に努める。(7)

- イ ホームページの充実を図り、教育活動、学校の様子を広く都民に伝える。学校案内、学校見学、授業体験、部活動体験、出前授業などの実施を通して、中学生・保護者及び地域に対して本校の存在感を高める。(f)
- ウ 地域や中学校・大学との連携、学校開放事業等での地域貢献に努め、地域に根ざし、地域から信頼を得る学校の実現を図る。(g)

(6) 健康づくり・環境づくり・防災教育 【教育環境の整備】

- ア 校内美化を徹底し、潤いのある環境づくりを行い、安全で快適な学習環境を提供する。(h)
- イ 学校保健計画に基づき、健康で充実した高校生活の実現を図り、心と身体の健康づくりを推進するとともに、生徒の気力・体力の向上を目指す。(i)
- ウ 生徒の「心の悩み」に早期に対応するためスクールカウンセラー及び特別支援教育推進委員会を活用して生徒情報を共有し生徒がSOSを出すことができる組織的な教育相談及び特別支援教育の充実に努める。(j)
- エ 防災教育推進委員会を中心に、地域と連携した防災訓練、避難訓練等を工夫し、防災教育を推進する。(k)
- オ 新型コロナウイルス感染症の感染防止に対する正しい知識及び行動を身につけさせ、他者を思いやる行動及びSOSの出し方について指導し、いじめ及び自殺の未然防止・早期発見・早期対応を図る。(x)

(7) 経営企画室

- ア 経営企画室からの改革案を具現化し、広報活動を始めとする経営企画室の学校経営参画を推進する。(n)
- イ 施設設備の点検・管理や迅速な修繕等とおして安全確保に努めるとともに、学習環境、執務環境を整備し校内美化を推進する。(l)
- ウ 適正な予算編成と予算執行を行うとともに公費並びに学校徴収金等の迅速かつ適正な会計管理を行う。(o)
- エ 個人情報に関わる業務は必ず複数の目で確認するなど特に注意し、経営企画室全体で事故を起こさない雰囲気醸成し、正確かつ効率的な業務遂行により事故のない円滑な学校経営に資する。(h)

(8) 学校運営・組織体制 【組織体制、実践取り組みの継続と発展】

- ア 企画調整会議と各部会、経営企画室の連携強化を図り、全教職員が学校運営に関わる組織運営を行う。(7)
- イ 大学入試改革、新学習指導要領を踏まえた、カリキュラム、行事等を適切に行う。(y)
- ウ 服務事故防止研修や日常の注意喚起をとおして個人情報の適切な管理を図るとともに、体罰及び不適切な指導を根絶し、服務事故の未然防止を徹底する。(b)
- エ 効率的な職務遂行に努め、勤務時間外在校時間を縮減し、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を図る。(m)
- オ 新規配置の図書館専門員との連携を図り、図書館業務の在り方を検証し、組織的に図書館を運営する。(s)
- カ オンライン対策委員会を設置し、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえさらに新しい学習形態を目指すSNSやデジタル技術を活用した学習の構築やICT機器及び統合型学習支援サービスの活用を促進する。(4)
- キ 職員間の適切なコミュニケーションを図り、円滑に業務が遂行できる風通しの良い職場環境を作る。(4)

(9) 特色ある学校づくり

- ア 国際理解教育として、アメリカン・サマー・キャンプ、進路探索研修旅行、スピーチコンテスト、英語検定、GTECの活用等を通し、国際理解教育に基づく国際的感性と英語を通じたコミュニケーション能力を育成する。(e)
- イ 高大連携やオープンキャンパス活用を推進し、進路意識の向上と進路挑戦力の育成を図る。(y)
- ウ 「表現」(学校設定教科)の内容充実と改善に努め、市民講師の活用及び教材・教具の整備を進め、表現力を育成する。(z)
- エ 思いやりを持ち相手の立場に立って考え行動することができる豊かな人間性を育む教育を実践し、人権教育を推進する。(f)
- オ 普通科単位制の特色を生かし、「学校2020レガシー」としてオリンピック・パラリンピック開催後も国際理解教育や日本の伝統・文化、ボランティアマインド等を意識した教育の実践と表現力の育成など体験型教育を推進する。(7)
- カ 学習と部活動、学校行事を両立させSport-Science Promotion Club、文化部推進校として部活動を奨励し目標に向かい努力を続ける習慣を身につけさせ、気力、精神力、体力の向上及び競技力や表現力等の向上を図る。(j)

2 今年度の重点目標と数値目標

(1) 教員の授業力と生徒の学習意欲を向上させる。

- ① 授業公開日等における相互授業参観 (全教員が他の授業を参観)
- ② 家庭学習時間 (前年度の自宅学習時間を上回る)
- ③ 生徒の授業満足度 (前年度の満足度を上回る)

(2) 夢をもち、進路希望を高く掲げる進路への挑戦力を身に付けさせる。

- ④ 現役進路決定率 (90%以上)
- ⑤ 国公立大、難関・有名私大合格者 (国公立、早慶上理GMARCHに現役で延べ30人以上)
- (3) 規則正しい生活と挨拶の励行をとおして、礼節を身に着け心身の健康を維持し思いやりの気持ちやコミュニケーション能力の向上を図る。
  - ⑥ 遅刻者の減少 (年間遅刻延べ回数930回)
  - ⑦ 欠席者の減少 (年間皆勤生徒数合計220名以上)
- (4) 部活動を推進し、文武両道の実践等をとおして学力とともに気力・精神力・体力の向上を目指す。
  - ⑧ 都大会ベスト16以上、関東大会出場、全国大会出場 (7部以上)
- (5) 広報活動を充実させる。
  - ⑨ SNSを活用した広報活動 (ホームページ更新 計200回以上)
  - ⑩ 学校見学会、学校説明会、個別相談、授業・部活動体験等での中学生及びその保護者来校者数 (1,700名以上)
  - ⑪ 学力による選抜、推薦に基づく選抜の倍率 (推薦3.2倍、一次1.4倍)
- (6) 服務事故を起こさない。
  - ⑫ 服務事故発生 (0件)
- (7) 職員の働き方改革を進める。
  - ⑬ 職員の勤務時間外在校等時間の縮減 (総時間で前年を下回る)